

こんにちは

# 会社訪問記

## 株式会社丸全油化工業所

(名古屋市緑区)

業界トップを誇る廃油の回収量

リサイクルで社会に貢献

基幹産業の大半が石油に依存する日本。毎日、大量のエネルギーが消費され、そのほとんどが輸入によって支えられています。石油が枯渇した場合、それに替わるエネルギーの開発ははまだ成就していません。現在、石油のリサイクルは急務とされ、エネルギーの有効利用に大きな期待が寄せられています。そこで設立以来、石油の省資源・省エネに携わってきた株式会社丸全油化工業所にお伺いし、福原専務にいろいろお話を聞かせていただきました。

——簡単な会社の歴史を教えてくださいませんか。

『当社は、現社長の吉武伸一が昭和27年に個人事業でスタートした製油業の会社です。昭和30年に法人化し、現在に至っています。ガソリンスタンドやカーディーラーの整備工場、バス・トラックの整備工場等から排出される廃油を回収しリサイクルした後、正常な燃料油あるいは重油として企業に供給しています』

——敷地内にはタンクがありますが、回収量はどれくらい規模なのですか。

『月間回収量が約4300kl。廃油をベースにした製油業としてはおそらく日本一でしょう。タンクはこの敷地内に1000kl分あります。ただし、これだけでは原料タンクと製品タンクを持っていても、すぐにあふれてしまうため、別の場所に1200klの製品タンクを用意しています。廃油は季節によって需給のバランスが異なり、対応に注意しなければなりません。廃油の発生量が増えてくる時期に



吉武社長



社名/株式会社丸全油化工業所

所在地/名古屋市緑区大高町字正光寺22番地

代表者/吉武伸一 設立/昭和30年 従業員/55名 TEL/052(621)2267

モットー/「迅速、親切、丁寧」 保有車輛/50台

事業所/本社 関連会社/株式会社全洋 営業種別/収集・運搬、中間処分  
取扱ひ品目/汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック

需要が落ちる。発生量は待ったなし、使う方は必要以上はいらないと言う。それをカバーしていくには販路の整備が必要です。当社はきめ細かい回収と高品質な製品づくりを心がけ、需給バランスの均一化に全力を上げています』

——現在、従業員は何人いらっしゃいますか。

『従業員は55名います』

——従業員教育はどうされていますか。

『勉強会を定期的に開催して、産廃の取扱い事項などをじっくり教育しています。従業員のモラルは企業を左右する大切なキーワードですから』

——企業モットーはなんでしょうか。

『モットーは“迅速、親切、丁寧”です』

——最後に営業規模を教えてください。

『当社の営業は広い範囲に及んでいます。東は横浜から西は岡山、北は石川・富山まで。これだけの規模で事業を行う業者はあまりいらっしゃらないと思います。また、当社は関東から九州の廃油業者約150社で構成される“全国再生鉱油連合会”に参加し、廃油業者の地位向上に力を注いでいます』

ももっとも品質の高い再生油を、付加価値のある良い製品を提供していきたいと語る福原専務。温厚なものごしのやさしい方でした。

